

R7かけはし通信 NO.4 令和1年10月30日 津市教育委員会

10の姿をもとに語り合いを可視化して子どもの見とりを豊かにしよう

モデル校区3年目である一志東小学校区ならではのオリジナルワーク！気軽に楽しく、語り合う過程を大切にしたワークの様子をご紹介します。

「保育園の色水遊びの写真から」



「シュワシュワジュース
できたよ！先生、飲んで！」
って感じかな

最初に見た写真の印象から見とてみよう！

エピソードを聞く前に子どもの写真から、インスピレーションを働かせてタイトルを考えています。

➡➡➡ このことをきっかけに、“エピソードについてもっと知りたいな”“この時どんな思いだったのかな”等、よりエピソードへの興味や関心を膨らませたワークがスタートしました。

10の姿から環境構成、保育者・教師のかかわりを書き込もう！



(園小交流での魚釣りゲームをしたエピソードから) 1年生が教える側となり、自分たちが園の子を楽しませてあげたいという思いで一生懸命でした。

② ①で見つけ出した10の姿をワークシートの吹き出しに書き込みます。

環境構成って場面の設定ってことですか？(小学校の先生)

何を用意するのか？どの位置に置くのか？というようなことです。(園の先生)

① 提案者のエピソードを聞きながら、子どもたちの学びを10の姿で見とります。

③ ②で書きだした10の姿を引き出している

環境構成にはピンクの付箋を

保育者・教師の思いやかかわりにはブルーの付箋を

書き込み、語り合いを可視化しています。

➡➡➡ 先生はなぜ、この時この環境を用意したのか？子どもたちの思いから発した先生の意図(かかわり)などが豊かな見とりへの手がかりにつながりました。

お声掛けください！！園・校のワークなどのお手伝いをさせていただきます！

架け橋サポーター、幼児教育アドバイザー、指導主事等が園・校にお伺いし、ご依頼の内容に合わせて一緒に手伝いさせていただきます。

- ・小学校区での架け橋ワークの内容についての相談
- ・エピソードについての相談(切り取り方など)
- ・架け橋期カリキュラムの更新について
- ・園での主体的にあそぶ子どもの姿についてドキュメンテーションをもとにお話
- ・当日のワークの指導助言
- ・ワークシートの活用について
- など